

財政収支(1-4月)

(1) 1-4月の歳入は前年同期比110.1%増、税収は同112.1%増。歳出は前年同期比102.3%増。
 (2) 結果として1-4月の財政収支は6,913.12億リラの赤字(前年同期比80.7%増)、プライマリーバランスは3,268.08億リラの赤字(同32.1%増)。

データ:財務省 単位:億リラ

歳入・歳出内訳	2023年1-4月(A)	2024年1-4月(B)	増加率 ((B-A)/A)
歳入(a)	10,627.01	22,330.11	110.1%
税収	8,637.39	18,318.16	112.1%
所得税	1,648.46	3,679.84	123.2%
法人税	249.62	480.48	92.5%
付加価値税(国内及び輸入)	3,243.60	7,086.70	118.5%
特別消費税	1,888.82	3,807.28	101.6%
その他税収	1,606.89	3,263.86	103.1%
税外収入等	19.90	40.12	101.6%
歳出(b)	14,451.97	29,243.23	102.3%
人件費	3,624.16	8,736.88	141.1%
物品及びサービスの購入	1,018.16	1,641.81	61.3%
経常移転	6,395.02	11,472.89	79.4%
資本支出	817.40	1,533.29	87.6%
支払利子(c)	1,351.54	3,645.04	169.7%
その他歳出	1,245.69	2,213.32	77.7%
財政収支(a-b)	▲ 3,824.96	▲ 6,913.12	▲ 80.7%
基礎的財政収支(a-(b-c))	▲ 2,473.42	▲ 3,268.08	▲ 32.1%

経常収支(2024年1-3月)

(1) 2024年1-3月の経常収支は、108.55億ドルの赤字(前年同期は245.84億ドルの赤字)。
 (2) 2024年1-3月の貿易収支(物品)は144.28億ドルの赤字で前年同期から赤字幅減少、旅行収支は61.97億ドルの黒字で前年同期から黒字幅拡大。

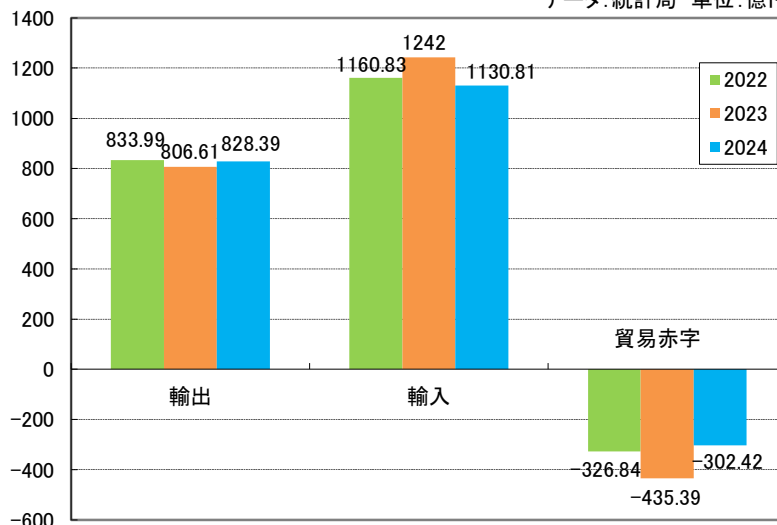
データ:中央銀行 単位:億ドル

内訳	2023年1-3月(A)	2024年1-3月(B)	増加率 ((B-A)/A)
経常収支	▲ 245.84	▲ 108.55	55.8%
貿易収支(物品)	▲ 295.27	▲ 144.28	51.1%
サービス収支	75.09	71.23	▲ 5.1%
旅行収支	59.55	61.97	4.1%
第1次所得収支	▲ 25.72	▲ 33.14	▲ 28.8%
第2次所得収支	0.06	▲ 2.36	▲ 4033.3%
労働者送金	0.72	0.20	▲ 72.2%
資本移転等収支	▲ 0.48	0.11	122.9%
金融収支	▲ 256.91	▲ 269.61	▲ 4.9%
直接投資	▲ 11.86	▲ 2.87	75.8%
証券投資	3.31	▲ 52.77	▲ 1694.3%
その他投資	▲ 105.54	13.21	112.5%
外貨準備	▲ 142.82	▲ 227.18	▲ 59.1%
誤差脱漏	▲ 10.59	▲ 161.17	▲ 1421.9%

貿易収支(1-4月)

(1) 1-4月の輸出額は828.39億ドル(前年同期比2.70%増)、輸入額は1,130.81億ドル(同8.95%減)となり、この結果、貿易収支は302.42億ドルの赤字(同30.54%赤字幅縮小)となった。
 (2) 1-4月の輸出額におけるEU向け輸出の占める割合は42.3%(前年同期は42.3%)、輸入額におけるEUからの輸入の占める割合は32.3%(前年同期は27.5%)となっている。

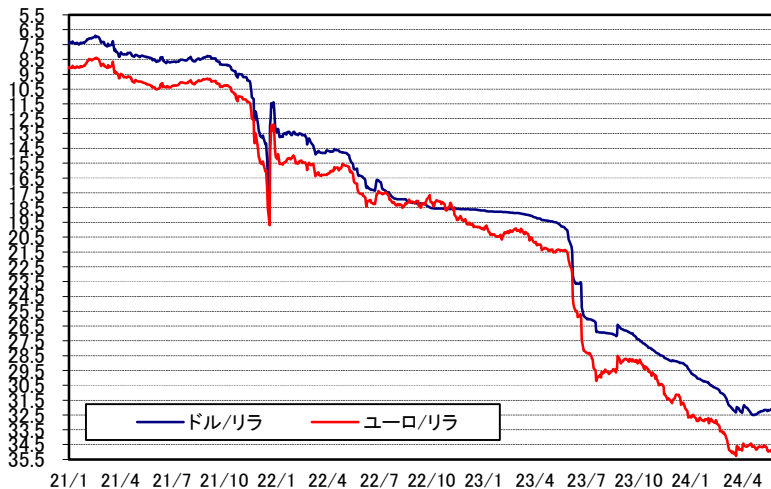
データ:統計局 単位:億ドル



為替(5月)

統一地方選挙以降ポートフォリオ投資関連で資金流入が見られ始め、さらに23日の金融政策委員会で政策金利の据え置き決定、同委員会後、新政策の公表等、トルコ中銀は金融引締めを継続している。このことから、月末は1ドル=32.13リラ(前月末比0.5%高)、1ユーロ=34.82リラ(同0.5%安)となった。

データ:中央銀行 単位:リラ



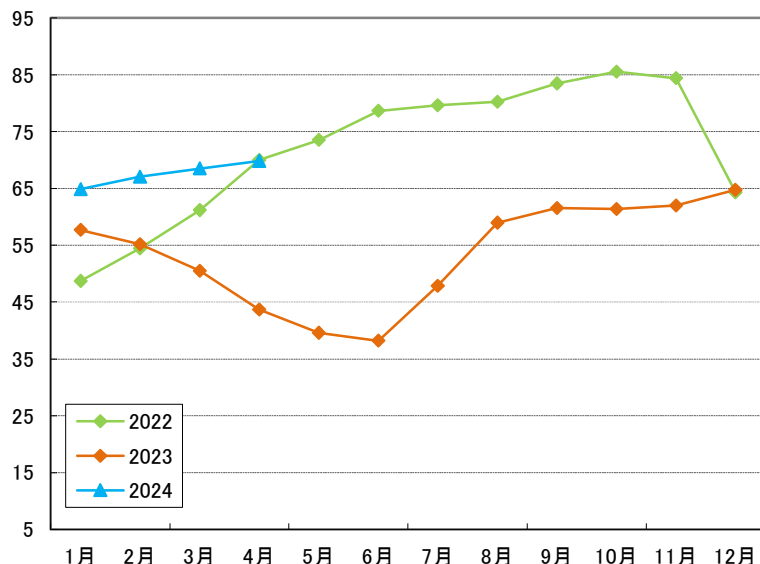
消費者物価上昇率(4月)

(1)4月の消費者物価は前年同月比69.8%増、前月比3.18%増。
(2)項目別にみると、前年同月比103.86%で教育が、前月比9.56%でアルコール及びタバコが最も上昇した。

(3)2024年末のインフレ率の中銀目標(5/9時点)は前年同月比38%。

(4)国内生産者物価指数は前年同月比55.66%増、前月比3.6%増となった。

データ:統計庁 単位:前年同月比(%)



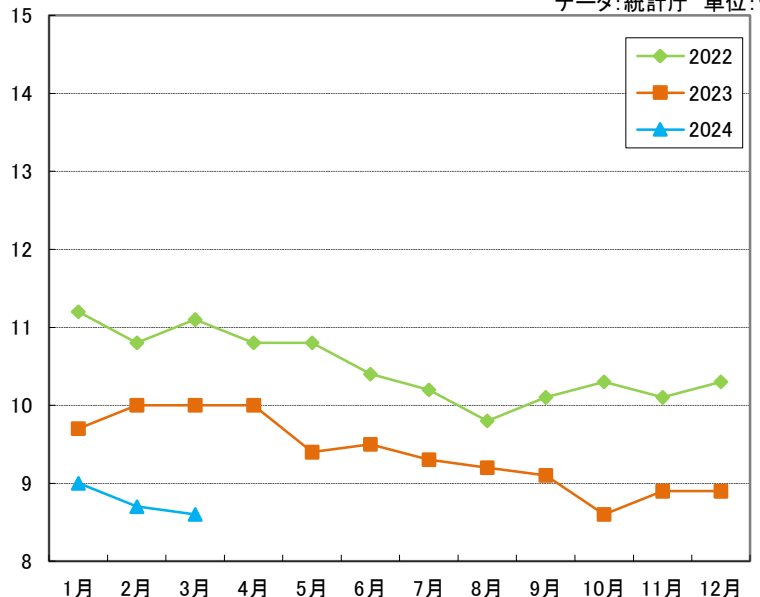
失業率(3月)

(1)3月の失業率(季節調整後)は8.6%となり、前月から0.1ポイント減少。

(2)労働力人口は3,564.5万人、就労者数は3,258.8万人、失業者数は305.7万人。

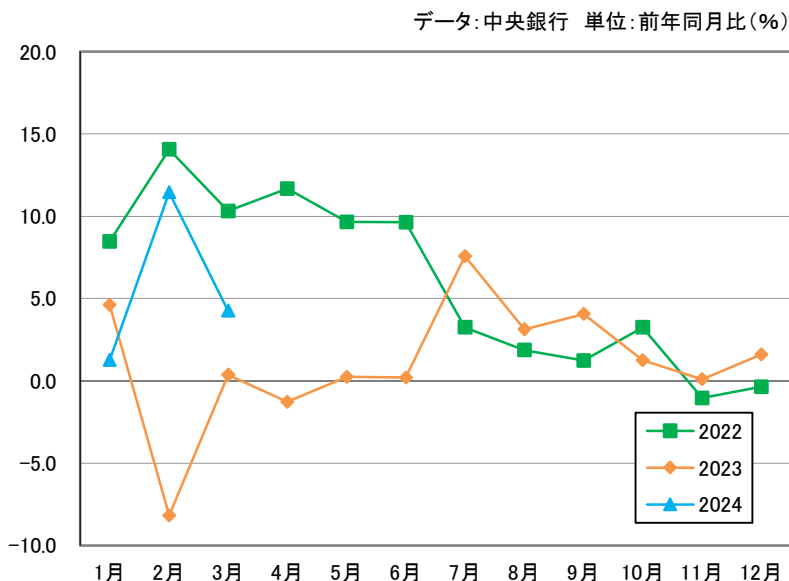
(3)男性の失業率は6.8%、女性は12.0%。若年層(15-24歳)の失業率は15.1%となっている。

データ:統計庁 単位:%



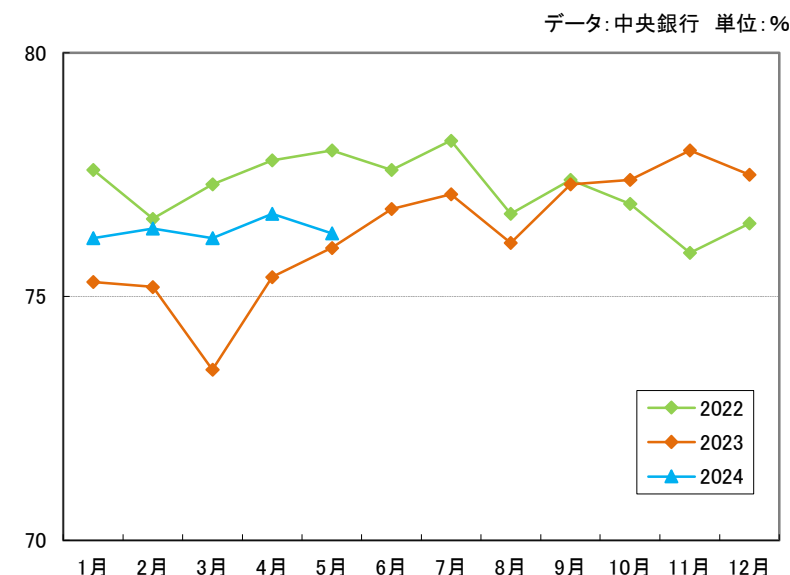
鉱工業生産(3月)

(1)3月の鉱工業生産指数は、前年同月比(日数調整後)4.3%増。
 (2)分野別では、耐久消費財が前年同月比5.0%増、資本財が同7.3%増、中間財が同5.0%増となった。



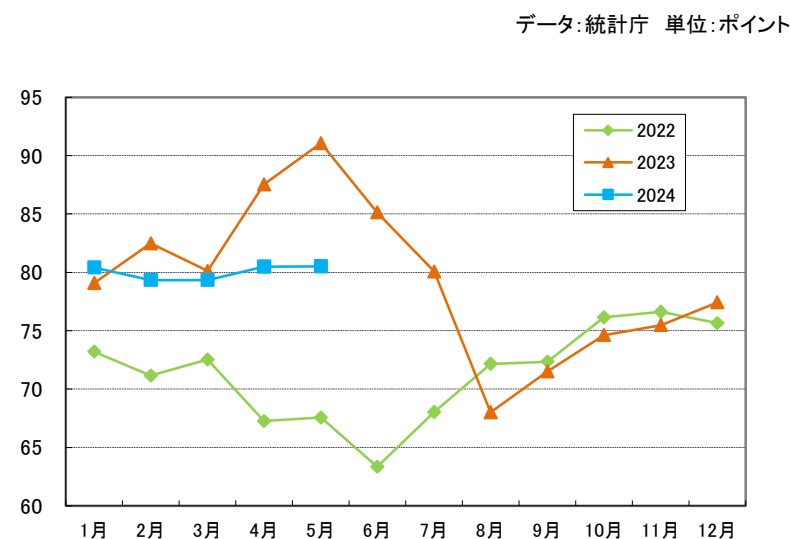
設備稼働率(5月)

(1)5月の設備稼働率は76.3%となり、前年同月から0.3ポイント上昇し、前月から0.4ポイント減少。
 (2)製造業の分野別では、紙及び紙製品製造業(83.5%)が最も稼働率が高く、皮革及び関連製品製造業(64.8%)が最も低い稼働率であった。



消費者信頼感指数(5月)

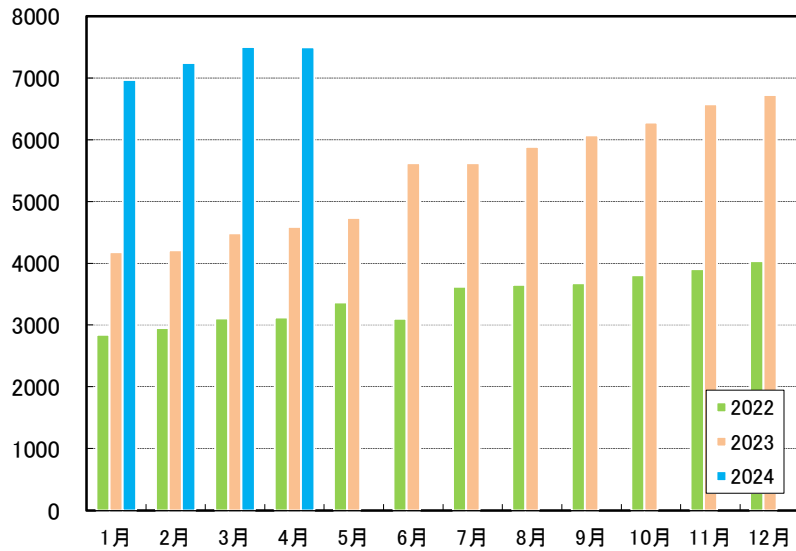
(1)4月の消費者信頼感指数(季節調整値)は80.51ポイントで、前月から0.05ポイント上昇。
 (2)内訳では、「今後12か月間の家計の財政状況見通し」、「今後12か月間の一般経済状況見通し」は前月から上昇し、「現在の家計の財政状況」及び「今後12か月間の耐久消費財への支出見通し」は前月から減少した。



中央政府債務残高(4月)

(1)4月末時点での中央政府債務残高は7兆4,926億リラとなり、前年同月比63.3%増、前月比0.1%減となった。
 (2)また、国内債務比率は47.6%、自国通貨債務比率は37.5%(2023年末は35.8%)となっている。
 (3)なお、債務残高のうち円は0.8%で、外貨ではドル、ユーロに次ぐ地位を占めている。

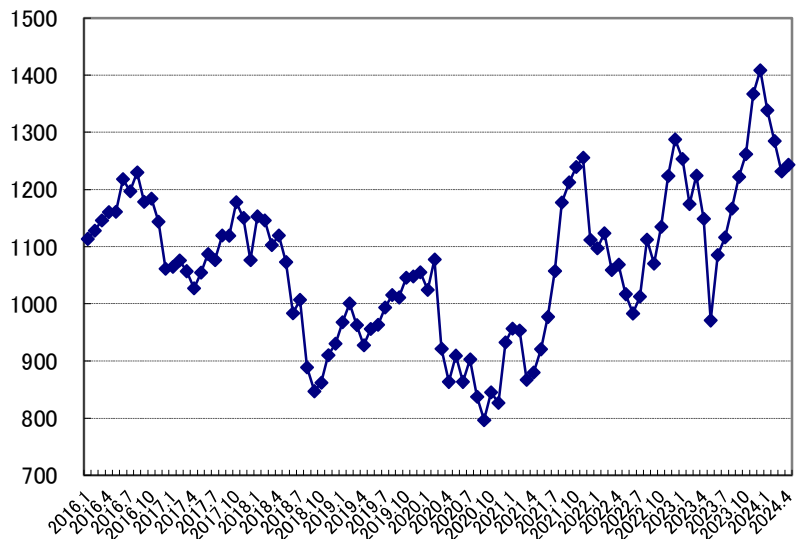
データ:財務省 単位:10億リラ



外貨準備高(4月)

(1)4月末時点での中央銀行の外貨準備高(金を含む)は1,242.90億ドルとなった。
 (2)前月から11.71億ドル増加した。

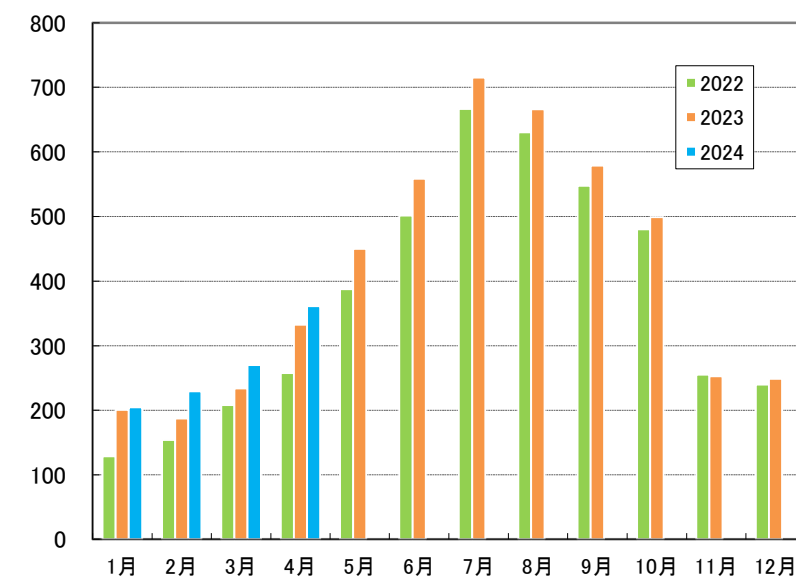
データ:中銀 単位:億ドル



外国人訪問者数(4月)

(1)4月の外国人訪問者数は3,611,244人で、前年同月比8.71%増。日本は9,261人であった(前年同月は4,640人)。
 (2)国別ではドイツが最も多く、434,863人で全体の12.04%を占め、以下、ロシア(396,155人)、英国(330,112人)となっている。

データ:文化観光省 単位:万人

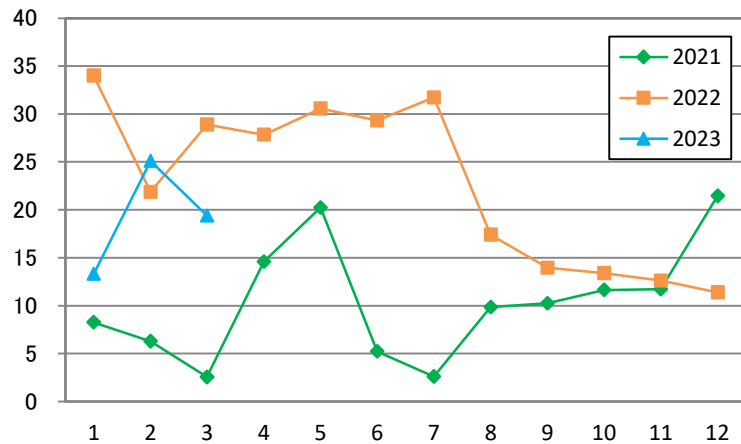


小売売上高(3月)

データ:統計庁 単位:前年同月比(%)

(1)3月の小売売上高は前年同月比(日数調整後)19.4%増、前月比(季節及び日数調整後)0%増。

(2)内訳は食品・飲料・タバコが前年同月比12.4%増、繊維・衣料が同11.0%増、コンピュータ・書籍・通信機器が同44.2%増となった。

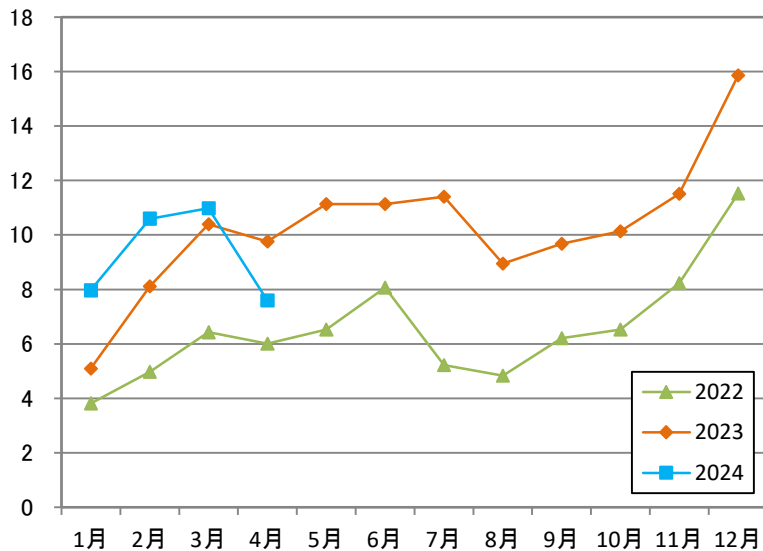


新車販売台数(4月)

データ:自動車販売協会 単位:万台

(1)4月の新車販売台数は75,919台で前年同月比22.28%減。

(2)4月の内訳は乗用車が61,448台(前年同月比20.61%減)、小型商用車が14,471台(同28.6%減)となった。



住宅販売戸数(4月)

データ:統計庁 単位:万戸

(1)4月の住宅販売戸数は75,569戸で前年同月比11.8%減となった。

(2)4月は新築が24,085戸(前年同月比10.6%減)、中古が51,484戸(同12.3%減)。

(3)4月の住宅ローンでの購入は7,071戸(前年同月比67.5%減)、その他が68,498戸(同7.2%増)。

